

**まちと繋がる市庁舎**  
 立地環境を活かし、周辺環境に調った建築資源との共存を図る建築デザイン  
 市庁舎の建物を取り除かれる建築計画とします。東西に高低差のある地形で、市庁舎より西側に住宅と大規模商業の市街地の連続した軸線（パヴァージュ）が、公園や緑地、イベントやお祭りなどの活動を引き込みます。また、建築が市民のための様々な機能を内包し、市民の生活や交流を促すことで、役所としての役割を超え、まちの交流拠点となる市庁舎を目指します。  
 市民等との協働を支える機能、その他公共施設との連携（パヴァージュに連続した市民のためのスペースをアクセシブルな1.2階に多く設け、市民等と市庁舎の積極的な利用を促します。また、大規模神社に面して広場を設けることで、既存の資料館や歴史資料館と市庁舎の連携を図ります。



**まちと緑につながる市民の開廊**  
 1階は賑やかな  
 2階は静かな  
 3階は静かな  
 4階は静かな  
 5階は静かな  
 6階は静かな  
 7階は静かな  
 8階は静かな  
 9階は静かな  
 10階は静かな  
 11階は静かな  
 12階は静かな  
 13階は静かな  
 14階は静かな  
 15階は静かな  
 16階は静かな  
 17階は静かな  
 18階は静かな  
 19階は静かな  
 20階は静かな  
 21階は静かな  
 22階は静かな  
 23階は静かな  
 24階は静かな  
 25階は静かな  
 26階は静かな  
 27階は静かな  
 28階は静かな  
 29階は静かな  
 30階は静かな  
 31階は静かな  
 32階は静かな  
 33階は静かな  
 34階は静かな  
 35階は静かな  
 36階は静かな  
 37階は静かな  
 38階は静かな  
 39階は静かな  
 40階は静かな  
 41階は静かな  
 42階は静かな  
 43階は静かな  
 44階は静かな  
 45階は静かな  
 46階は静かな  
 47階は静かな  
 48階は静かな  
 49階は静かな  
 50階は静かな  
 51階は静かな  
 52階は静かな  
 53階は静かな  
 54階は静かな  
 55階は静かな  
 56階は静かな  
 57階は静かな  
 58階は静かな  
 59階は静かな  
 60階は静かな  
 61階は静かな  
 62階は静かな  
 63階は静かな  
 64階は静かな  
 65階は静かな  
 66階は静かな  
 67階は静かな  
 68階は静かな  
 69階は静かな  
 70階は静かな  
 71階は静かな  
 72階は静かな  
 73階は静かな  
 74階は静かな  
 75階は静かな  
 76階は静かな  
 77階は静かな  
 78階は静かな  
 79階は静かな  
 80階は静かな  
 81階は静かな  
 82階は静かな  
 83階は静かな  
 84階は静かな  
 85階は静かな  
 86階は静かな  
 87階は静かな  
 88階は静かな  
 89階は静かな  
 90階は静かな  
 91階は静かな  
 92階は静かな  
 93階は静かな  
 94階は静かな  
 95階は静かな  
 96階は静かな  
 97階は静かな  
 98階は静かな  
 99階は静かな  
 100階は静かな



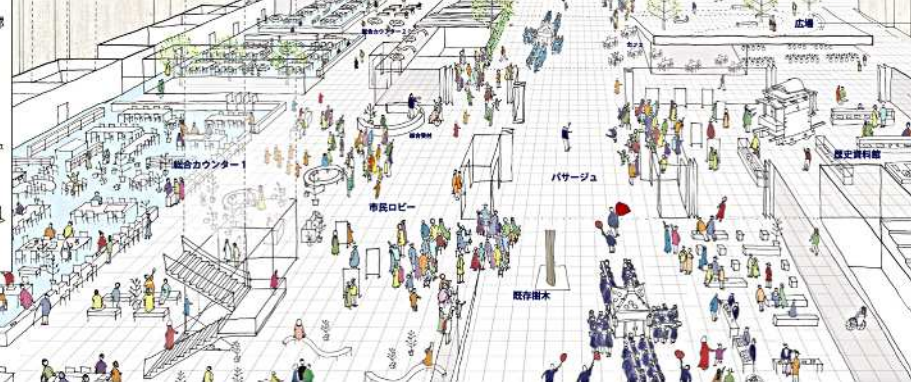
**段階的な建替えを考慮した広がりある低層の建物**  
 低層の建物とすることで、高さ方向の活動を促し、市民がアクセシブルな計画とします。また、各層に大きなテラスを設け、建物の間に緑地を連続的に広げることができるようにします。  
 低層の建物とすることで周辺への圧迫感や目撃を低減します。  
 工期が異なる種別ごとの建替は分けて（パヴァージュ）を設け、接続部分に必要な小室とすることで、段階的な建替えに配慮した計画とします。



**パヴァージュとバスによって明るく賑やかに連続する市民の憩園**  
 1. パヴァージュによる明るく賑やかな市庁舎  
 パヴァージュは市民の建物へのアプローチであり、また上下階を空間的につなぐ役割を持ちます。パヴァージュを介して市民の活動の賑わいがあふれ、明るく賑やかな市庁舎となります。また、パヴァージュは緑地や植栽などを行う環境配慮としても機能します。  
 2. バスによるパヴァージュのネットワーク  
 建物の間に各種のネットワーク（パヴァージュ）と市庁舎をEVを設けます。パヴァージュを連続するように配したバスが、建物の間の緑地を確保します。これにより、市民の様々な活動や賑わいがあふれ、市庁舎に寄り添うようになります。



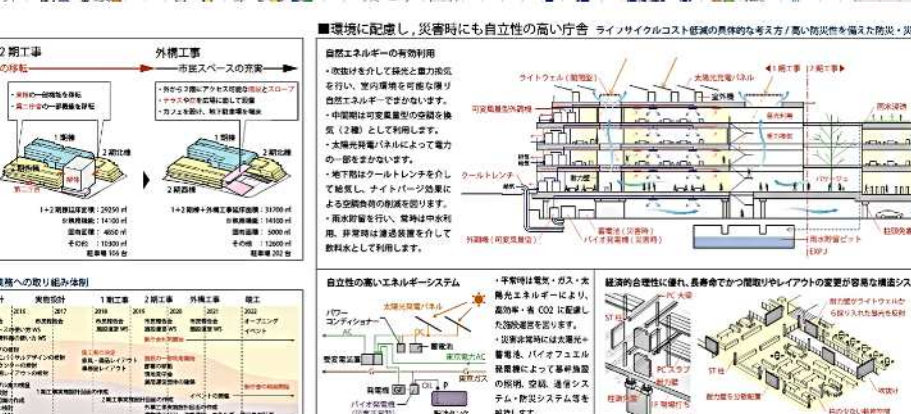
**仮設庁舎の不要な建替え計画** 現在地での合理的な建替えの考え方  
 ・仮設庁舎の不要な建替え計画とします。  
 ・既存の庁舎の各種の役割を受け継ぎます。  
 ・仮設庁舎の建設費、取得費、敷設費用、運用費を削減します。  
 ・高層を既存の庁舎で運用を行うために、高層を2階まで建て替えます。



**環境に配慮し、災害時にも自立性の高い庁舎** ライノサイクルコスト削減の具体的な考え方 高い防災性を備えた防災・災害復興拠点としての機能と地域との関係  
 自然エネルギーの有効利用  
 ・取捨をかけた省エネと電力消費の削減を行い、室内環境を可能な限り自然エネルギーで満たします。  
 ・自然エネルギーは変動型のエネルギーを供給（2階）として利用します。  
 ・太陽光発電（パネル）によって電力を供給します。  
 ・地下には蓄電池（バッテリー）を介して給電し、ナイトリッジ効果による空調負荷の削減を図ります。  
 ・雨水貯留を行い、雑草は中水利用、非草類はトイレを介して排水として利用します。



**府中の新しい市庁舎をみんなでつくる** 設計の進め方を含めた基本案への取り組み体制  
 ・市民の代表者、議員、設計チームでプロジェクトチームを構成し、みんなの庁舎をつくる。  
 ・状況や時期に応じて各分野の専門家を集めた設計チームを組織し、取捨選択が可能なチームを構築する。  
 ・庁舎の活動や市民参加やワークショップを開催する。  
 ・庁舎の活動や市民参加やワークショップを開催する。  
 ・庁舎の活動や市民参加やワークショップを開催する。



**災害時の自立的な運営と地域との連携を想定した建築計画**  
 ・避難安全確保のための安全・合理的な防災計画の採用を検討します。  
 ・自然採光や自然換気を活用し、かつ太陽光発電やバイオ発電機、自然エネルギーを最大限活用することで、災害時においても外部インフラに依存せず、庁舎としての機能を維持します。  
 ・災害時の建物として災害時に避難の役割になり、エレベーターが停止した際に利用できる避難の役割を担うようにします。  
 ・地下には蓄電池として電力を供給するよう、非常時の電源確保、高水防対策への対策を行います。  
 ・災害時、地下駐車場の活用を確保するとして利用します。  
 ・地下駐車場の活用、地上は災害時の拠点として利用します。  
 ・地震対策、防災、災害復興拠点として、大規模な災害時の拠点と連携し、災害時の支援機能を確保した建物とします。  
 ・1Fのパヴァージュ、テラスなどの半屋外空間は、教育等の受け入れや災害対策本部の活動の場として活用します。

